

授業科目名		アカデミック・ライティング		担当教員	力武 由美、高瀬 文広	
開講年次		1 年前期	セメスター	1	時間数(単位数)	30 (1)
必修選択		必修	授業形態	演習	使用教室	
授業の目的		論理的批判的思考と他者との議論に基づいて、自分の見解や訴えを、他者に理解されるように明確に表現する文章を書く技能を高める。				
到達目標		1. 文章作成の目的とその前提条件を認識し、適切な構成と表現を企画することができる。 2. 情報を収集し、その質を吟味して、論証の中に有機的に引用することができる。 3. 自己または他者による批評を受容し、科学的学術的発信活動の改善に生かすことができる。 4. 科学的学術的な文章に用いられる構造、語彙、表現に関する知識を活用することができる。				
ディプロマポリシーにおける科目の位置づけ		グローバル社会において高等教育を受けた専門家として、また社会の責任ある成員として、高いモラルを持ち、人権を尊重した信頼性の高い情報発信をするための基礎技能を涵養する科目である。そのため、本学の教育方針を構成する「看護」「人間」「環境」「健康」「国際」のすべての領域をカバーし、各領域の教育活動および学修行動の基礎に位置付けられる。 また、本科目は研究テーマに係る文献検索を行い、そこから問いをみつけ、主題を設定し、エビデンスに基づく論証を展開する一連の作業は、「自己教育力」を涵養するものである。 さらに、科学的学術的執筆活動は、先行研究および著作権を尊重するモラルを身に付け、エビデンスに基づく科学的なライティング技能を身に付けることを目的とすることから、「人間の尊厳と権利を擁護する力」を涵養する科目でもある。				
ディプロマポリシーとの関連		人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探究する力
		○	◎			
授業計画						
回	授業内容		授業方法	学修課題 (予習・復習)	取組時間	担当者
1	講義：科学的学術的文章を書く目的と要件（教科書第1章） 討議：「科学的学術的な文章」例の特徴について		講義・演習	予習：「科学的学術的な文章」とはどういう文章のことをいうのか、テキストの第1章を読み、その要件と特徴を説明できるようにする。好例となる文章を持参する。 復習：ポイント確認課題（提出）。	60－90分	力武高瀬
2	講義：科学的学術的文章の構造―問いと主張と論証（教科書第2章） 討議：各自が課題文をもとに文章構造分析を行った結果について		講義・演習	予習：教科書第2章を読み、初回授業で配布される課題の文章構造を分析して、持参する。 復習：ポイント確認課題（提出）。	60－90分	力武高瀬
3	講義：科学的学術的文章を書く段取り―ブレインストーミングと文献リスト（教科書第3章） 討議：各自のトピック、資料内容、文献リストの書き方について		講義・演習	予習：各自関心のあるトピックとその理由を、他者に説明できるようにしてくる。関連資料を1つ以上、持参する。 復習：各自のトピックに関する文献検索・収集を進める。	60－90分	力武高瀬
4	講義：科学的学術的文章を書く段取り(1)―文献検索と文献レビュー（教科書第4章） 発表・討議・相互評価：各自のトピックに関する文献レビューについて		講義・演習	予習：各自関心のあるトピックについての関連文献のレビューを1編書いて持参する。 復習：文献レビューのリライト（提出）。	60－90分	力武高瀬
5	講義：科学的学術的文章を書く段取り(2)―情報・知識・知見の「既知」と「未知」の区画（教科書第4章） 発表・討議：各自のトピックに関する研究テーマ群について		講義・演習	予習：各自関心のあるトピックについてどのような研究が行われているかを鳥瞰したうえで、テーマ別に研究の系統分類を行い、その見取り図をもとに他者に説明できるように準備する。 復習：文献検索・収集を充実させる。	60－90分	力武高瀬
6	講義：科学的学術的文章を書く段取り(3)―着想・問い・視点のオリジナリティの明確化と問いの設定（教科書第4章） 発表・討議・相互評価：各自のワークシート内容について		講義・演習	予習：前回の時点でグルーピング化した研究群から1つ、自分の関心テーマと視点を絞り、自分が執筆する科学的学術的文章のオリジナリティを明確にし、ワークシートに記入する。 復習：ワークシートのリライト（提出）。	60－90分	力武高瀬

7	講義：科学的学術的文章の執筆のためのアウトライン（教科書第5章） 発表・討議・相互評価：各自のアウトラインについて	講義・演習	予習：自分が書く科学的学術的文章の執筆のためのアウトラインを書いて、持参する。 復習：相互評価にもとづきアウトラインのリライト（提出）。	60－90分	力武高瀬
8	講義：「わかりやすい文章」とは？(1)―論証方法（教科書第6章） 討議：各自が課題文の論証方法を分析した結果について	講義・演習	予習：前回の授業時に課題として配布された文章を、論証方法の観点から分析・評価してくる。 復習：論証方法の種類と特徴に関するポイント確認課題（提出）。	60－90分	力武高瀬
9	講義：「わかりやすい文章」とは？(2)―上位概念と下位概念（教科書第6章） 討議：各自のカテゴリー分析結果について	講義・演習	予習：前回の授業時に課題として配布された文章をもとに、上位概念と下位概念を識別してくる。 復習：ポイント確認課題（提出）。	60－90分	力武高瀬
10	講義：科学的学術的文章の基本単位―「パラグラフ」という概念と構造（教科書第7章） 発表・討議・相互評価：各自の導入部について	講義・演習	予習：第7回授業時に作成したアウトランをもとに、導入部を執筆して、持参する。 復習：導入部のリライト（提出）。	60－90分	力武高瀬
11	講義：科学的学術的文章の機能―「一般」から「具体」へ（教科書第8章） 発表・討議・相互評価：各自の本体部分について	講義・演習	予習：第7回授業時に作成したアウトランをもとに、本体部を執筆して、持参する。 復習：相互評価に基づくリライト（提出）。	60－90分	力武高瀬
12	講義：科学的学術的文章の信頼性と妥当性―エビデンスベースト（教科書第8章） 発表：討議・相互評価：各自の科学的学術的文章全体について	講義・演習	予習：結論部を執筆し、必要な箇所にはエビデンスと引用文献を示していることを確認して、文章全体を持参する。 復習：相互評価に基づくリライト（提出）。	60－90分	力武高瀬
13	講義：科学的学術的文章で用いるアイデアと表現のコピー引用と剽窃（教科書第9章） 討議・相互評価：各自の文章全体について	講義・演習	予習：各自の文章全体の編集、校正を済ませ、持参する。 復習：ポイント確認課題（提出）。	60－90分	力武高瀬
14	発表・討議：グループの代表発表者選出と相互評価	講義・演習	予習：引用と剽窃に焦点化して確認を行い、最終原稿を持参する。 復習：相互評価に基づく最終校正（提出）。	60－90分	力武高瀬
15	発表・討議：発表会・評価会・講評フィードバック（期末試験と各自の論文の成果と不十分な点を説明し、執筆発表活動における独創性・信頼性・妥当性・論理性・説得性を中心に。）	講義	予習：発表を評価する際のポイントをリストアップしてくる。 復習：論文執筆の構想から発表までの活動を振り返るワークシートの記入（提出）。	60－90分	力武高瀬
先行履修科目					
テキスト		戸田山和久：論文の教室―レポートから論文まで、NHK出版、2012.			
参考文献		小林康夫，大澤真幸：「知の技法」入門。河出書房新社，2014. 岩崎美紀子：「知」の方法論―論文トレーニング。岩波書店，2013. Murray, R.：How to Write a Thesis. Open University Press, 2006.			
評価方法		活動への積極的参加 30%、提出物の完成度 40%、定期試験 30%			
教員等の実務経験		学会の学術雑誌の査読・編集活動、行政機関・研究機関の学術研究書等の執筆・翻訳・編集・監修・監訳活動、大学での倫理審査活動を経験している教員が講義をします。			